

上越市道側溝施工マニュアル

このマニュアルは、上越市道の側溝を施工する場合に適用するものです。

1. 道路の構造物等が境界（市道区域）を越えて民地内に設置することはできません。側溝は原則として官民境界沿いの官地側に設置し、集水柵等の構造物も官地内に設置してください。
2. 側溝渠底の縦断勾配は0.3%以上を確保してください。なお、部分的な側溝の入替え等を行う場合は現況の勾配に合わせて施工してください。
3. 排水機能を確保するため、側溝の内空寸法は製品寸法より小さくすることは原則できません。また、自由勾配側溝の深さ（内空高）は原則として30cm以上を確保し、内空幅60cm以下の自由勾配側溝は、深さを内空幅の2倍以下にしてください。それ以外は、事前に道路管理者と協議をしてください。
4. 側溝の割付けは二次製品（自由勾配側溝、プレキャストU型側溝等）の配置を優先し、調整部分は端部又は輪荷重の影響を受けにくい箇所に配置のうえ、事前に道路管理者と協議をしてください。
5. 道路横断部や車両乗入れ部以外で、やむを得ず二次製品を切断する場合は、事前に道路管理者と協議をしてください。
6. 自由勾配側溝の曲線部等で目地の隙間が3cm超える場合は、別紙（自由勾配側溝 現場打標準図）のとおり現場打ちの道路側溝にしてください。また、プレキャストU型側溝の場合も同様とし、側壁の厚さは製品の全幅と合うように寸法を読み替え、渠底と内壁の形状についても製品に合わせてください。なお、二次製品の蓋と現場打ち側溝の梁の厚さが異なる場合でも支障はありません。
7. 側溝の曲線部等で目地の隙間が3cm以下の場合で目地からの漏水によって民地側への影響が懸念される場合は、事前に道路管理者と協議のうえ、官地内で側溝目地の外部に保護コンクリートを設置する等の措置を行ってください。また、集水柵と側溝等との接続部についても適切な漏水対策を講じてください。
8. 自家用等の乗用自動車、最大積載量2トン以下の貨物自動車等の乗入れ部であっても、自動車の出入り回数が多い場合や駐車場等の敷地内除雪を重機によって行う場合は、横断用の側溝（角欠け防止用のアングル補強付き）を使用してください。
9. 側溝の蓋は二次製品の使用を原則としますが、ツバ付きタイプのグレーチングや縞鋼板は市が管理する蓋としては使用することができません。なお、二次製品が使用できない箇所では現場打ちの道路側溝にしてください。また、コンクリート蓋を設置する場合、5mに1箇所（車道・歩道共）グレーチング蓋を設置してください。

附則

このマニュアルは、令和6年2月26日以降の申請から適用する。